

(10) リンゴ

〔果樹類>落葉果樹>仁果類>りんご〕

① 防除のポイント・注意事項

病害虫名	防除時期	摘 要
【病害全般】	[耕種的防除]	・発病部位(主に葉・枝・果実)は発見次第すみやかに除去し、園外で焼却か土中深く埋める。 ・落葉やせん定によって切り取った枝も、園外で粉碎・焼却または土中深く埋める。
黒 星 病	開 花 前 ～ 幼 果 期	・一次伝染の防止が重要なので、開花期前後の薬剤散布に重点を置く。
	果 実 肥 大 期	・銅水和剤を使用する場合は、サビ果防止のため炭酸カルシウム剤を混用する。
	収 穫 後	・ 休眠期防除参照
斑点落葉病	落 花 期	・フロンサイドSCの前後にボルドー剤を散布する場合は、7日以上の間隔をあける。
	収 穫 前	・収穫までの日数を考慮して、使用時期「前日まで」等、日数が短い薬剤を使用する。
	収 穫 後	・この時期は、主に有機銅剤を用いる。
褐 斑 病	梅 雨 明 け 前 後	・低温多雨の年に発生が多くなり、早期落葉につながる。
すす斑病 すす点病	5 月 中 旬 ～ 9 月 下 旬	・夏に降雨の多い年に、発生が多い。 ・有袋栽培で発生が多いので、袋かけ前に防除する。
赤 星 病	4 月 下 旬 ～ 5 月 中 旬	・多発園では、初発期とさらにその1週間後に散布する。
	[耕種的防除]	・中間宿主であるビャクシン類を周辺(1km程度)から取り除く。
輪 紋 病 (いぼ皮病)	6 月 中 旬 ～ 8 月 上 旬	・高温多雨条件が続くと、感染頻度が高くなる。
腐 ら ん 病	剪定時及び病 患 部 削 り 取 り 直 後	・トップジンMペーストまたはバッチレートを原液のまま使用する。 ・せん定時には、せん定直後の切り口に塗布する。 ・病斑を見つけた場合は、すみやかに病患部を大きめに削り取り、傷あと及びその周辺に十分塗布する。 ・ 休眠期防除参照
切り口および 傷口のゆ合促進	剪定整枝時、 病患部削り取り直 後、及び 病枝切除後	・せん定直後の切り口に、トップジンMペーストまたはバッチレートを塗布する。
アブラムシ類	5 月 上 旬 ～ 7 月 下 旬	・展葉初期の防除を徹底する。
カイガラムシ 類	【 共 通 】	・ 休眠期防除参照
	幼 虫 ふ 化 直 後	・5月上～中旬、7月上～中旬頃の幼虫ふ化期から若齢幼虫期に薬剤を散布する。
	[耕種的防除]	・9月下旬までに主枝や垂主枝にコモ等を巻き付けて、バンド誘殺を行う。

病害虫名	防除時期	摘 要
コナカイガラ ムシ類 クワコナカイガラ ムシ(若齢幼虫)	幼 虫 ふ 化 直 後	・5月上～中旬、7月上～中旬頃の幼虫ふ化期から若齢幼虫期に防除する。 ・ 休眠期防除参照
カメムシ類	6 月 中 旬 ～ 9 月 下 旬	・成虫が山林から果樹園に飛来し、幼果期から収穫期まで加害する。 ・落果に注意しながら樹を揺すって、成虫の有無を確認する。
ハマキムシ類	展 葉 期	・発生状況を見ながら、ふ化幼虫の最盛期に防除する。
	果 実 肥 大 期	・果実肥大期間中は、ふ化幼虫最盛期に防除する。
	[耕種的防除]	・葉と果実の接触部分に生息しやすいので、葉摘みを行う。
ハダニ類 (リンゴハダニ) (ナミハダニ)	6 月 下 旬 ～ 9 月 上 旬	・ハダニ類は、短期間で増加し、増加すると防除困難になるので、発生初期にかけ残しのないように丁寧に散布する。 ・高温・乾燥が続くと発生しやすいので、注意する。 ・ 休眠期防除参照
シンクイムシ類	6 月 下 旬 ～ 9 月 上 旬	・リンゴを加害するシンクイムシ類として、モモシンクイガおよびナシヒメシンクイがある。 ・世代間の重なりが大きく、連続的に発生するので、継続的な防除対策が必要である。また、果実への食入前に防除する。
キンモンホソガ	幼 果 期	・食入虫の防除よりも食入防止に重点を置き、成虫発生期から産卵期にかけての散布が効果的である。
	果 実 肥 大 期	・7月下旬から8月上旬の第3世代の卵および無脚幼虫期に散布する。
	[耕種的防除]	・冬期に落葉を焼却するか、または土中に埋める。
ギンモン ハモグリガ	4 月 ～ 9 月	・老熟幼虫がぶら下がるのを確認し、その10日～2週間後に卵期を迎えるので、その時期に薬剤を散布する。
カミキリムシ類	6 ～ 7 月	・産卵初期～産卵最盛期直前に、処理する。 ・主幹地際部から約50cmの高さまで塗布または散布する。 ・薬液が果実や葉に付着しないように、注意して散布する。

リンゴ【殺菌剤・その他】

RPA

作物名	薬剤名	農薬の種類	RAC	毒劇	使用時期	使用回数	使用量	使用方法	適用病害虫名/使用濃度（希釈倍率）					適用病害虫名/使用濃度（希釈倍率）								
									すす点病	すす斑病	褐斑病	黒星病	傷口のゆ 合促進	赤星病	切り口及 び傷口の ゆ合促進	斑点落葉 病	腐らん病	輪紋病	銅水和剤 による薬 害軽減			
りんご	ICホド [®] -412	銅水和剤	M1		-	-	200～700 $\frac{\text{g}}{\text{10a}}$	散布			30～50倍	30～50倍				20～50倍		20～40倍				
りんご	アクサーフロアブル	ジフェノコナゾール・フルキサビロキサトール水和剤	3,7		収穫14日前まで	3回以内	200～700 $\frac{\text{g}}{\text{10a}}$	散布			2000倍	2000倍		2000倍		2000倍						
りんご	アリエティック水和剤	キャブタン・ホセチル水和剤	M4,P7		収穫前日まで	3回以内	200～700 $\frac{\text{g}}{\text{10a}}$	散布	800倍	800倍	800倍	800倍				800倍		800倍				
りんご	アントラコール顆粒水和剤	プロビネブ水和剤	M3		収穫45日前まで	4回以内	200～700 $\frac{\text{g}}{\text{10a}}$	散布	500倍	500倍	500倍	500倍				500倍		500倍				
りんご	インダフロアブル	フェンブコナゾール水和剤	3		収穫14日前まで	3回以内	200～700 $\frac{\text{g}}{\text{10a}}$	散布	5000～10000倍	5000～10000倍	5000～10000倍	5000～12000倍			5000～12000倍							
りんご	オキシシン水和剤	オキサボコナゾールフルマ酸塩水和剤	3		収穫7日前まで	5回以内	200～700 $\frac{\text{g}}{\text{10a}}$	散布	3000倍	3000倍		3000～4000倍			3000～4000倍		2000～3000倍					
りんご	オソサイド水和剤80	キャブタン水和剤	M4		収穫前日まで	6回以内	200～700 $\frac{\text{g}}{\text{10a}}$	散布	600～800倍	600～800倍	600～800倍	600～1000倍				600～800倍		600～800倍				
りんご	オキシラン水和剤	キャブタン・有機銅水和剤	M1,M4		収穫14日前まで	4回以内	200～700 $\frac{\text{g}}{\text{10a}}$	散布	500～600倍	500～600倍	500～600倍	500～800倍				500～800倍		500～800倍				
りんご	オルフィンラスフロアブル	テブコナゾール・フルボキサム水和剤	"[-](I*),3		収穫7日前まで	3回以内	200～700 $\frac{\text{g}}{\text{10a}}$	散布	2000倍	2000倍	2000倍	2000～3000倍			2000～3000倍		2000～3000倍					
りんご	キノド水和剤40	有機銅水和剤	M1		収穫14日前まで	4回以内	200～700 $\frac{\text{g}}{\text{10a}}$	散布				500～800倍				500～800倍						
りんご	キノド水和剤80								1200倍	1200倍	1200倍	1200～1600倍				1200～1600倍			1200倍		1200倍	
りんご	キノド顆粒水和剤								1000倍	1000倍	1000倍	1000倍				1000倍			1000倍		1000倍	

作物名	薬剤名	農薬の種類	RAC	毒劇	使用時期	使用回数	使用量	使用方法	適用病害虫名/使用濃度（希釈倍率）								適用病害虫名/使用濃度（希釈倍率）			
									すす点病	すす斑病	褐斑病	黒星病	傷口のゆ 合促進	赤星病	切り口及 び傷口の ゆ合促進	斑点落葉 病	腐らん病	輪紋病	銅水和剤 による薬 害軽減	
りんご	コサイト 3000	銅水和剤	M1		-	-	200～700 $\frac{\text{g}}{\text{10a}}$	散布	2000倍	2000倍	2000倍					2000倍		2000倍		
りんご	ジマンダ イセン水和剤	マンゼブ水和剤	"UN(1*)		収穫30日 前まで	3回 以内	200～700 $\frac{\text{g}}{\text{10a}}$	散布	500～600 倍	500～600 倍	500～600 倍	500～600 倍		500～600 倍		500～600 倍		500～600 倍		
りんご	スクレアフロアブル	マンデストロビン水和剤	11		収穫前日 まで	3回 以内	200～700 $\frac{\text{g}}{\text{10a}}$	散布				2000～ 3000倍						2000～ 3000倍		
りんご	スコア顆粒水和剤	ジフェノコザール水和剤	3		収穫14日 前まで	3回 以内	200～700 $\frac{\text{g}}{\text{10a}}$	散布			2000～ 3000倍	3000～ 4000倍		3000～ 4000倍		3000倍				
りんご	ストロビート ライフロアブル	クレスキシメチル水和剤	11		収穫前日 まで	3回 以内	200～700 $\frac{\text{g}}{\text{10a}}$	散布	2000～ 3000倍	2000～ 3000倍	2000～ 3000倍	3000倍		1500～ 3000倍		1500～ 3000倍		2000～ 3000倍		
りんご	セルカデイスDフロアブル	ジチアノン・フルキサ ビロキサト水和剤	7,M9	劇	収穫60日 前まで	3回 以内	200～700 $\frac{\text{g}}{\text{10a}}$	散布				1000～ 1500倍	1000～ 1500倍		1000～ 1500倍		1000～ 1500倍		1000～ 1500倍	
りんご	ダコニール1000	TPN水和剤	M5		収穫45日 前まで	3回 以内	200～700 $\frac{\text{g}}{\text{10a}}$	散布				1000倍				1000倍				
りんご	チオノックフロアブル	チケラム水和剤	M3		収穫30日 前まで	5回 以内	200～700 $\frac{\text{g}}{\text{10a}}$	散布	500倍	500倍	500倍	500倍		500倍		500倍		500倍		
りんご	デランフロアブル	ジチアノン水和剤	M9	劇	収穫60日 前まで	3回 以内	200～700 $\frac{\text{g}}{\text{10a}}$	散布				1000～ 2000倍	1000～ 2000倍				1000～ 2000倍		1000～ 2000倍	
りんご	トクリンフロアブル	有機銅水和剤	M1		収穫14日 前まで	4回 以内	200～700 $\frac{\text{g}}{\text{10a}}$	散布	800～ 1000倍	800～ 1000倍	800～ 1000倍	800～ 1000倍				800～ 1000倍		800～ 1000倍		
りんご	トップジンMベースト	チオファネートメチル ベースト剤	1		【A】	3回 以内		塗布									原液	原液		
					【B】										原液					
りんご	トップジンM水和剤	チオファネートメチル水和剤	1		収穫前日 まで	6回 以内	200～700 $\frac{\text{g}}{\text{10a}}$	散布	1000～ 1500倍	1000～ 1500倍	1000～ 2000倍	1000～ 2000倍					1000～ 1500倍	1000～ 1500倍		

作物名	薬剤名	農薬の種類	RAC	毒劇	使用時期	使用回数	使用量	使用方法	適用病害虫名/使用濃度（希釈倍率）					適用病害虫名/使用濃度（希釈倍率）					
									すす点病	すす斑病	褐斑病	黒星病	傷口のゆ 合促進	赤星病	切り口及 び傷口の ゆ合促進	斑点落葉 病	腐らん病	輪紋病	銅水和剤 による薬 害軽減
りんご	ベルクト707Aブル	イミノタジナルベル シ酸塩水和剤	M7		収穫前日 まで	6回 以内 (但 し、 開花 期以 降散 布は 3回 以内)	200～700 $\frac{\text{g}}{\text{L}}$ /10a	散布	1000～ 1500倍	1000～ 1500倍	1000～ 1500倍	1000～ 1500倍				1000～ 1500倍		1000～ 1500倍	
りんご	ベルクト水和剤								1000～ 1500倍	1000～ 1500倍	1000～ 1500倍	1000～ 2000倍				1000～ 2000倍		1000～ 1500倍	
りんご	ベルント水和剤	ベルニル水和剤	1		収穫前日 まで	4回 以内	200～700 $\frac{\text{g}}{\text{L}}$ /10a	散布	2000～ 3000倍	2000～ 3000倍	2000～ 3000倍	2000～ 3000倍				2000～ 3000倍	2000～ 3000倍		
りんご	エックス顆粒水和剤47	シプロニル水和 剤	9		収穫14日 前まで	4回 以内	200～700 $\frac{\text{g}}{\text{L}}$ /10a	散布			2000倍	1000～ 2000倍				1000～ 2000倍			
りんご	クレフソ	炭酸カルシウム水 和剤	「- (植) 」			-		【Y】										80～ 100倍	

使用時期：【A】 剪定時及び病患部削り取り直後

【B】 剪定整枝時、病患部削り取り直後、及び病枝切除後

使用方法：【Z】 剪定枝の切口、病患部の削除あとに塗布、【Y】 銅水和剤に混用して散布

リンゴ【殺虫剤】

RPA

作物名	薬剤名	農薬の種類	RAC	毒劇	使用時期	使用回数	使用量	使用方法	適用病害虫名/使用濃度 (希釈倍率)											
									アブラムシ類	カイラムシ類	カキリムシ類	カメムシ類	ギンモンハモグリガ	キンモンホリガ	クワコナカイラムシ	コナカイラムシ類	シクイムシ類	ナミハダニ	ハダニ類	ハマキムシ類
りんご	アデント水和剤	アクリナリン水和剤	3A		収穫前日まで	3回以内	200~700g/10a	散布	1000倍					1000倍			1000倍			
りんご	アカタ顆粒水溶剤	チアトキサム水溶剤	4A		収穫7日前まで	2回以内	200~700g/10a	散布	2000~3000倍			2000倍	2000~3000倍	2000~3000倍		2000~3000倍	2000倍			
りんご	アグロスリン水和剤	シベルメリン水和剤	3A	劇	収穫前日まで	2回以内	200~700g/10a	散布	1000~2000倍				1000~2000倍	1000~2000倍			1000~2000倍		1000倍	
りんご	アブロードフロアブル	アブロフェジン水和剤	16		収穫30日前まで	2回以内	200~700g/10a	散布		1000~1500倍	←幼虫									
りんご	アルバリン顆粒水溶剤	ジノテフラン水溶剤	4A		収穫前日まで	3回以内	200~700g/10a	散布	2000倍			2000倍	2000倍	2000倍		2000倍	2000倍			
りんご	オリオン水和剤40	アラニカルブ水和剤	1A	劇	収穫前日まで	2回以内	200~700g/10a	散布	1000倍	1000倍			1000倍	1000倍			1000倍		1000倍	
りんご	カスケード乳剤	フルフェノクスロン乳剤	15		収穫14日前まで	2回以内	200~700g/10a	散布					2000~4000倍	2000~4000倍				2000倍	2000~6000倍	2000倍
りんご	ガットサイトS	MEP乳剤	1B		【A】	3回以内	-	【Z】			1(原液)~1.5倍									
							100~1000mL/樹	【Y】			1.5倍									
りんご	カネマイトフロアブル	アセキノシル水和剤	20B		収穫7日前まで	1回	200~700g/10a	散布									1000~1500倍		1000~1500倍	
りんご	キラップフロアブル	エチプロール水和剤	2B		収穫14日前まで	2回以内	200~700g/10a	散布	1000~4000倍			2000倍	1000~2000倍	1000~2000倍						
りんご	コルト顆粒水和剤	ピリフルキナゾン水和剤	9B		収穫前日まで	3回以内	200~700g/10a	散布	3000~6000倍	3000~4000倍										
りんご	コロマイト水和剤	ミルベメクシン水和剤	6		収穫前日まで	1回	400~700g/10a	散布										2000倍		
りんご	サムコルフロアブル10	クロラントラニプロール水和剤	28		収穫前日まで	3回以内	200~700g/10a	散布					2500~5000倍	2500~5000倍		2500~5000倍			2500~5000倍	
りんご	サンマイト水和剤	ピリダベン水和剤	21A	劇	収穫21日前まで	1回	200~700g/10a	散布									1000~1500倍		1000~3000倍	
りんご	スカウトフロアブル	トラロメリン水和剤	3A	劇	収穫前日まで	5回以内	200~700g/10a	散布	1500~2000倍			1500~2000倍	1500~2000倍	2000倍			2000倍		2000倍	
りんご	スタークル顆粒水溶剤	ジノテフラン水溶剤	4A		収穫前日まで	3回以内	200~700g/10a	散布	2000倍			2000倍	2000倍	2000倍		2000倍	2000倍			

作物名	薬剤名	農薬の種類	RAC	毒劇	使用時期	使用回数	使用量	使用方法	適用病害虫名/使用濃度（希釈倍率）					適用病害虫名/使用濃度（希釈倍率）						
									アブラムシ類	カイロラムシ類	かみりムシ類	かみムシ類	キンモンハダガリガ	キンモンホソガ	クワコカイラムシ	コナカイラムシ類	シクイムシ類	ナミハダニ	ハダニ類	ハマキムシ類
りんご	スチオン水和剤40	MEP水和剤	1B		収穫30日前まで	3回以内	200～700g/10a	散布	800～1200倍			800～1000倍	800～1000倍		800～1200倍				800～1200倍	
りんご	ダニコグフロアブル	ピフルピミド水和剤	25B		収穫前日まで	1回	200～700g/10a	散布											2000倍	
りんご	ダニサラバフロアブル	シフルメトフェン水和剤	25A		収穫前日まで	2回以内	200～700g/10a	散布											1000倍	
りんご	ダニトロンフロアブル	フェンピロキシメト水和剤	21A		収穫30日前まで	1回	200～700g/10a	散布											1000～2000倍	1000～2000倍
りんご	ダニツツ水溶剤	クロチアジン水溶剤	4A		収穫前日まで	3回以内	200～700g/10a	散布	2000～4000倍			2000～4000倍	2000～4000倍		2000～4000倍	2000～4000倍				
りんご	ディアナWDG	スピネトラム水和剤	5		収穫前日まで	2回以内	200～700g/10a	散布				5000～15000倍	5000～15000倍			5000～10000倍			5000～15000倍	
りんご	トランスフォームフロアブル	スルホキサフロム水和剤	4C		収穫前日まで	3回以内	200～700g/10a	散布	2000～4000倍	1000～2000倍										
りんご	ニゾラン水和剤	ヘキシチアゾクス水和剤	10A		収穫7日前まで	2回以内	200～700g/10a	散布											2000～3000倍	2000～3000倍
りんご	バリアード顆粒水和剤	チアクロプリド水和剤	4A	劇	収穫前日まで	3回以内	200～700g/10a	散布	4000倍			2000倍	4000倍	4000倍		4000倍	2000～4000倍			
りんご	バロックフロアブル	エトキサール水和剤	10B		収穫14日前まで	2回以内	200～700g/10a	散布											2000倍	2000～3000倍
りんご	ピラニカ水和剤	テブフェンピラト水和剤	"21A(I*)	劇	収穫14日前まで	1回	200～700g/10a	散布											1000～2000倍	
りんご	フェニックスフロアブル	フルベンジアミド水和剤	28		収穫前日まで	2回以内	200～700g/10a	散布					4000～6000倍	4000～6000倍					4000倍	4000～6000倍
りんご	フェニックス顆粒水和剤												4000倍	4000倍					4000倍	4000～6000倍
りんご	マイトコネフロアブル	ピフェネート水和剤	20D		収穫前日まで	1回	200～700g/10a	散布											1000～1500倍	1000倍
りんご	マブリック水和剤20	フルバリネート水和剤	3A	劇	収穫30日前まで	2回以内	200～700g/10a	散布	2000倍				2000倍	2000倍				2000倍	2000倍	2000倍
りんご	モスピラン顆粒水溶剤	アセタミプリド水溶剤	4A	劇	収穫前日まで	3回以内	200～700g/10a	散布	2000～4000倍	4000倍		2000～4000倍	2000～4000倍	2000～4000倍				2000～4000倍		
りんご	ロビソフット	フェンプロパトリンエゾール	3A		収穫前日まで	5回以内		【X】												

使用時期：【A】6～7月(産卵初期～産卵最盛期直前)但し収穫30日前まで

使用方法：【Z】主幹地際部から約50cmの高さまで塗布、【V】主幹地際部から約50cmの高さまで散布、

【X】樹幹・樹枝の食入孔にノズルを差し込み噴射